

建築生産系国際ワークショップ(ベトナムワークショップB)

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2025年09月17日 ~2025年09月28日	ベトナム	交通運輸大学	・建築学科、建築学専攻 ・学部2年生、学部3年生、学部4年生、修士1年生、修士2年生	(芝浦工業大学) 学生18名、学生バイト4名、 教員2名 (交通運輸大学) 学生30名、教員4名	志手 一哉(建築学科)、壺澤 宏剛(建築学科)



図1 ワークショップの告知

ベトナム・ハノイにキャンパスを持つ交通運輸大学(UTC)において、UTCコンストラクションマネジメント学科の学部生30名と、芝浦工業大学で建築生産を専攻する学部生・大学院生18名が合同で、建築生産系国際ワークショップを実施しました。ワークショップのテーマは、2024年8月に運行を開始したばかりのハノイ都市鉄道3号線カウザイ駅周辺に6つのエリアを設定し、各グループがそれぞれのエリアに施設を計画してBIMソフトウェアでモデリングを行う、というものでした。事前に、交通分野を専門とするUTCの学生がカウザイ地区の3D都市モデルを作成しており、そのモデル上で各グループがワークシェアリング機能を用いて施設モデルを製作しました。また、それらをビューア上で統合し共有するという、共通データ環境(CDE)の演習も行いました。SITとUTCの混成チームは互いにアイデアを出し合いながら計画を練り、約4日間のワークタイムで完成度の高い施設を提案しました。動画を交えたプレゼンテーションは迫力あるものでした。成果発表会では、3名の教員による特別講演が行われました。また、教員らの評価により優秀賞に選ばれたグループには、ハノイ都市鉄道管理委員会の副本部長から賞状が授与されました。さらに、バッチャン陶芸博物館、ハノイミュージアム、ベトナム軍事歴史博物館などハノイの近代建築の視察や、国営建設コンサルタントによるBIM事例紹介の講演も行われ、充実したグローバルPBLとなりました。



図2 ワークショップの様子1



図3 ワークショップの様子2



図4 成果発表会の様子



図5 制作した成果物1



図6 制作した成果物2



図7 発表会の集合写真